

わが家のタイムライン(避難行動計画)

内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的にわが家のタイムラインの内容や避難行動の確認を行いましょう。

Step1

巻末ポケットのハザードマップを見て、チェックをして下さい。浸水想定区域に当てはまらない場合は空欄にします。

Step2

巻末ポケットのハザードマップを見て、浸水想定区域に入っていない避難先を記入して下さい。自宅が浸水想定区域に入っていない、安全が確保できる場合は、在宅避難が可能です。

Step3

確認した項目にチェックをして下さい。避難する際に支援が必要な方は、事前に家族や近隣の方に相談し、協力を求めて下さい。



避難するタイミングの警戒レベルにチェックをして下さい。

作成シート

Step1 ハザードマップで身近な「災害の危険」を確認

あなたの住んでいる地域は？	住んでいる場所の浸水深は？
<input type="checkbox"/> 浸水想定区域	川が氾濫した場合のわが家の浸水予測は <input type="text"/> m

Step2 避難先の確認

災害の種類	避難先 (避難所、親戚宅など)	避難先までの移動手段・時間		
洪水		徒歩 <input type="text"/> 分	車 <input type="text"/> 分	その他の移動手段 <input type="text"/> 分
地震		徒歩 <input type="text"/> 分	車 <input type="text"/> 分	その他の移動手段 <input type="text"/> 分

Step3 避難行動の確認

警戒レベル	行政からの避難情報など	私(と家族)の取るべき行動
警戒レベル1	【土砂災害】早期注意情報	<input type="checkbox"/> テレビやラジオで気象情報を確認する <input type="checkbox"/> 避難先、移動手段、移動時間を再確認する <input type="checkbox"/> 避難するときに持っていくものを確認する(P2参照) <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える
警戒レベル2	【洪水】氾濫注意情報 【土砂災害】大雨注意報 / 洪水注意情報	<input type="checkbox"/> 避難する際、家族に支援が必要な人はいるか <input type="checkbox"/> 避難するときに支援してくれる人の名前と連絡先を記入する (名前: <input type="text"/> 連絡先: <input type="text"/>)
警戒レベル3	【洪水】氾濫警戒情報 【土砂災害】大雨警報 / 洪水警報	<input type="checkbox"/> 高齢者など避難に時間のかかる人は避難開始 <input type="checkbox"/> どこに避難するか、家族や親戚に伝える (連絡する家族や親戚の電話番号: <input type="text"/>)
警戒レベル4	【洪水】氾濫危険情報 【土砂災害】土砂災害警戒情報	<input type="checkbox"/> 全員避難開始 <input type="checkbox"/> 避難するときに声をかける人が近所にいる (名前: <input type="text"/> 連絡先: <input type="text"/>)
警戒レベル5	【洪水】氾濫発生情報 【土砂災害】大雨特別警報	<input checked="" type="checkbox"/> 命を守る最善の行動をとる

わが家の避難するタイミングは

警戒レベル3 警戒レベル4

家族に一冊
保存版

いつでも手の届く場所に大切に保管しましょう!

奈井江町

防災 ガイドマップ

令和6年2月

はじめに読みましょう! 防災ガイドマップの使い方

この防災ガイドマップには、避難所や想定される危険区域、各種災害への備え方などを掲載しています。いつ、どこで災害が発生しても落ち着いて行動できるよう、ご家族皆さんで読んで、防災対策にお役立てください。

確認・準備ができた項目には、にをいれましょう。

避難所の確認 避難方法や集合場所の確認 非常持出品の準備

目次

災害に備える ... P.2-P.4

土砂災害 ... P.10

風水害 ... P.5-P.9

地震 ... P.11-P.13



防災ガイドマップはスマートフォンでもご覧頂けます。

日本一の直線道路のまち
奈井江町



この冊子は公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。

災害に備える

風水害

土砂災害

地震

奈井江町防災ガイドブックについて

この防災ガイドブックは、石狩川及び石狩川水系奈井江川・茶志内川・十四号川・豊沼奈江川・旧奈江豊平川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合に浸水が想定される区域、土砂災害発生のおそれがある区域にお住いの皆様が速やかに避難していただくために作成したものです。浸水が予想される範囲とその深さ並びに指定緊急避難場所及び指定避難所を示しております。

浸水予想に用いた降雨条件

近年多発する豪雨災害を受け、水防法等の一部を改正する法律が平成27年7月に施行され、最大規模の降雨を想定した洪水浸水想定区域図の見直しが盛り込まれました。

新たな洪水浸水想定区域図は、従来の150年に1度の想定規模から、おおむね1,000年に1度の想定最大規模で浸水した場合の水深が石狩川を管理している北海道開発局から発表され、北海道が管理する石狩川水系の奈井江川・茶志内川・十四号川・豊沼奈江川・旧奈江豊平川についても令和4年に発表されました。

町では、これを受けて新たなハザードマップを作成しましたが、計画を越えた降雨時や内水のはん濫時等は、このハザードマップに示されていない地域で浸水する場合や、想定している水位が実際の浸水と異なることがあるので注意して下さい。

避難情報の種類

警戒レベル	避難情報など	取るべき行動
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 (奈井江町が発令) ^{※1}	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとります。
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~		
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	避難指示 (奈井江町が発令)	速やかに避難行動をとります。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難 (奈井江町が発令) ^{※2}	ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間のかかる人とその支援者は退避行動をとります。
警戒レベル2	大雨・洪水注意報 (気象庁)	避難に備え、ハザードマップなどにより、自ら避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁)	気象情報などに注意して、災害への心構えを高めましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

災害に備える

『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト

非常持出品 災害時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう。

<b>必需品</b> <input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ 	<input type="checkbox"/> 予備電池 	<input type="checkbox"/> 飲料水  (1人1日3リットル目安)	<input type="checkbox"/> 非常食 
<input type="checkbox"/> タオル・毛布 	<input type="checkbox"/> 衣類・下着類 	<input type="checkbox"/> 感染症対策用品 	<input type="checkbox"/> 貴重品 	<input type="checkbox"/> お薬・救急セット  (お薬手帳も忘れず!)

備蓄品 最低3日分の準備をしておきましょう。(できれば7日分の備蓄を心がけましょう)

<b>燃料</b> <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料 	<b>非常食品</b> <input type="checkbox"/> お米(レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料 <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴 	<b>赤ちゃんがいる家庭</b> <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 母子手帳 <input type="checkbox"/> 離乳食
<b>飲料水</b> <input type="checkbox"/> ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク 1人1日3リットル×3日分 	<b>その他</b> <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品 <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ(電池式) 	<b>高齢者がいる家庭</b> <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ <input type="checkbox"/> 介護食 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤
<b>個別に必要なもの</b> <input type="checkbox"/> メガネ・コンタクト用品 <input type="checkbox"/> 生理用品		

避難する時の注意点

<b>避難時の服装</b> 荷物は少なく、動きやすい服装で。  ヘルメット、防災頭巾などで頭を保護 非常持出品はリュックで持ち運ぶのがおすすめ 携帯ラジオ、ホイッスルなどがあると便利 軍手や革手袋などで手を保護 靴は底の厚い履きなれたものを	<b>ガスの元栓を閉める</b> ガス爆発の危険があるため、ガスの元栓は閉めましょう。 	<b>避難は徒歩で、2人以上が望ましい</b> 特別な事情を除き、避難は徒歩が原則です。 
<b>ブレーカーを落とす</b> 停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。 		

# 災害に備える

## 避難所の種類

### ● 避難所開設について

災害時に全ての避難所が開設されるとは限りません。

**地震の場合は** 建物の安全性を確認して開設を判断します。

**洪水の場合は** 避難対象地域に応じて避難所を開設します。

開設する避難所については、テレビ・IP告知放送や広報車など複数の手段でお知らせします。

### ● 指定避難所

災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

### ● 一時避難所・指定緊急避難場所

災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

### ● 福祉避難所(高齢者や妊産婦・幼児対象)

町では、高齢者等の要配慮者に対して、社会教育センターを福祉避難所に指定しています。

※突発的な災害が発生した場合は、最寄りの指定緊急避難場所へ避難してください。

※避難勧告や指示が出されなくても、身の危険を感じた場合は自主避難を心がけましょう。

奈井江町社会教育センター(公民館) TEL 65-5311

## 避難時の行動

避難場所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。

### 行政が指定した避難所への立退き避難

避難の際は非常持出品を携行しましょう。

### 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

### 屋内安全確保

浸水の危険があっても「**3つの条件**」が確認できれば自宅に留まり安全を確保することも可能です。

**3つの条件** ※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない ② 浸水深より居室は高い ③ 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分

## 要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

### 高齢者・寝たきりの方

#### 日頃の備え

室内はできるだけ広くし、家具や棚の上に重い物、角のある物は置かない。

#### 災害時に

本震がおさまっても余震に備え、家の安全な場所に移動する。

### 耳が不自由な方

#### 日頃の備え

筆記用具を携帯しておく。

#### 災害時に

メモなどで正確な情報を周囲の人に聞く。

### 目が不自由な方

#### 日頃の備え

白杖は必ず手の届くところに置いておく。家具などの配置の変更は本人に必ず伝える。

#### 災害時に

笛などを吹き、居場所を知らせる。周囲の人に安全な場所までの誘導を依頼する。

### 肢体の不自由な方

#### 日頃の備え

室内の安全スペースの確保と家具などの転倒防止策を十分に取る。

#### 災害時に

頭部を座布団や手で守る。車いすは安全な場所に止め、介助者の協力を求める。

## 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

### 指定緊急避難場所

番号	施設名	住所	電話番号	想定避難地区	災害種別	
					地震	洪水
1	奈井江町文化ホール(広場等)	本町2区	65-6066	本町	○	○
2	奈井江町交流プラザみなグル(広場等)	本町1区	74-5574	本町	○	○
3	奈井江中学校グラウンド ※1	本町9区	65-2150	本町	○	×
4	奈井江町社会教育センター(広場等) ※1 ※2	本町10区	65-5311	本町・北町	○	×
5	奈井江小学校グラウンド ※1	北町3区	65-2108	北町・瑞穂・大和	○	×
6	奈井江商業高校グラウンド	南町2区甲	65-2350	南町・高島・茶志内	○	○
7	奈井江町体育館前広場	東町6区	65-3200	東町・宮村・住友新町・ 厳島・白山・向ヶ丘	○	○
8	奈井江町役場(広場等) ※1	本町9区	65-2111	本町	○	×
9	北町コミュニティ会館 ※1	北町4区	-	北町	○	×
10	南町コミュニティ会館	南町1区	-	南町	×	○
11	東町生活館	東町5区	65-3916	東町・宮村・住友新町	×	○
12	向ヶ丘生活館	向ヶ丘	65-5316	向ヶ丘・栄町	×	○
13	茶志内連合会館	南町2区乙	-	南町・茶志内	×	○
14	京極会館	茶志内7区	-	茶志内	×	○
15	宮村農業集落センター	宮村2区	-	宮村・茶志内	×	○
16	厳島農業集落センター	厳島1区	-	厳島	×	○
17	白山農業集落センター	白山2区	65-3000	白山	×	○
18	大和連合会館 ※1	大和4区	-	大和	○	×
19	道の駅「ハウスヤルビ奈井江」	北町6区	65-4601	北町・瑞穂・大和	○	○

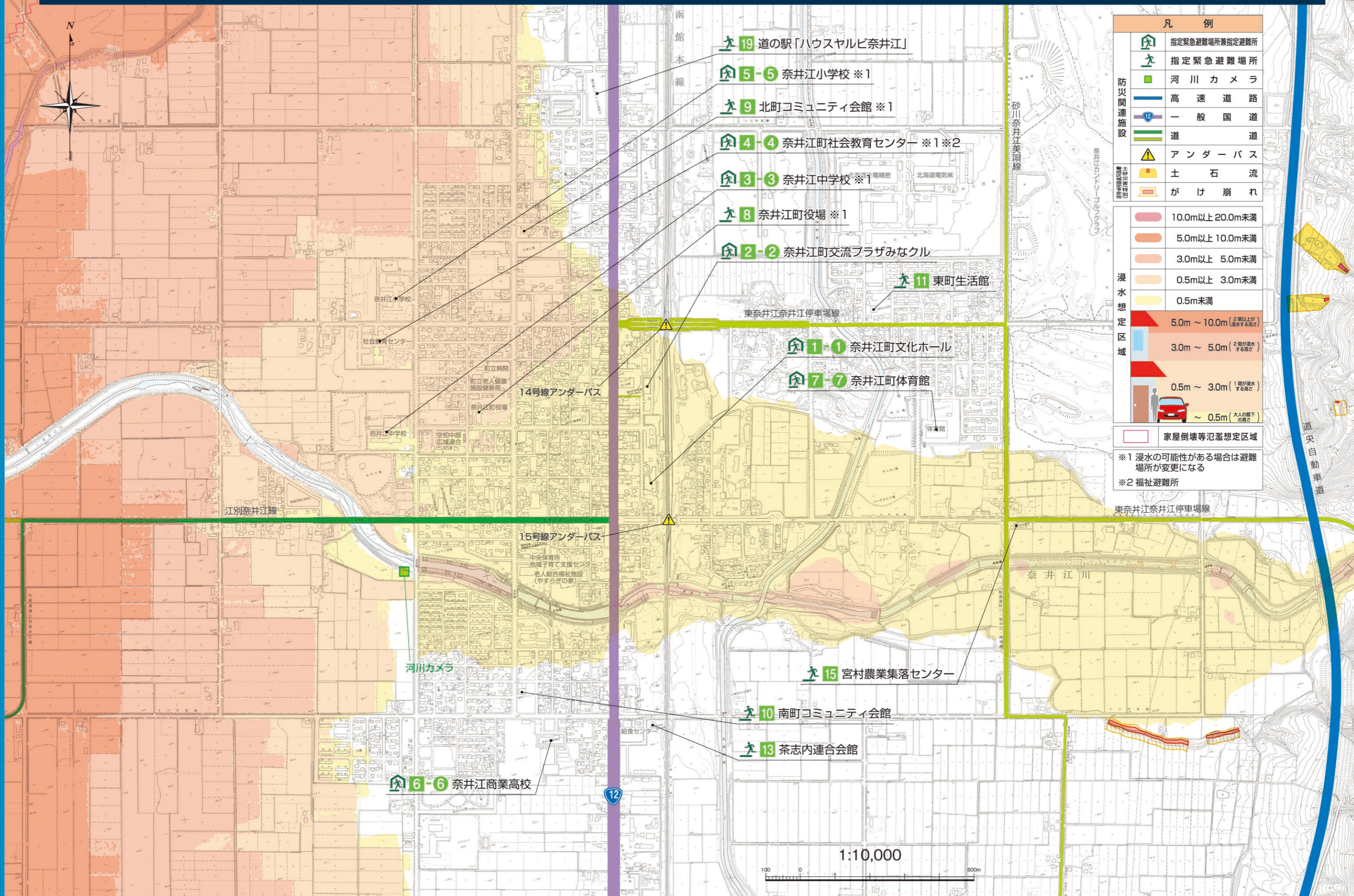
※1 浸水の可能性がある場合は避難場所が変更になる ※2 福祉避難所

### 指定避難所

番号	施設名	住所	電話番号	想定避難地区	災害種別	
					地震	洪水
1	奈井江町文化ホール	本町2区	65-6066	本町	○	○
2	奈井江町交流プラザみなグル	本町1区	74-5574	本町	○	○
3	奈井江中学校(体育館) ※1	本町9区	65-2150	本町	○	×
4	奈井江町社会教育センター ※1 ※2	本町10区	65-5311	本町・北町	○	×
5	奈井江小学校(体育館) ※1	北町3区	65-2108	北町・瑞穂・大和	○	×
6	奈井江商業高校(体育館)	南町2区甲	65-2350	南町・高島・茶志内	○	○
7	奈井江町体育館	東町6区	65-3200	東町・宮村・住友新町・ 厳島・白山・向ヶ丘	○	○

※1 浸水の可能性がある場合は避難所が変更になる ※2 福祉避難所

# 風水害～洪水ハザードマップ【市街図】～






凡 例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	河川カメラ
	高速道路
	一般国道
	道道
	アンダーパス
	土石流
	がけ崩れ
	10.0m以上 20.0m未満
	5.0m以上 10.0m未満
	3.0m以上 5.0m未満
	0.5m以上 3.0m未満
	0.5m未満
	5.0m ~ 10.0m (2階以上が浸水する高さ)
	3.0m ~ 5.0m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3.0m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	家屋倒壊等氾濫想定区域

※1 浸水の可能性がある場合は避難場所が変更になる  
 ※2 福祉避難所


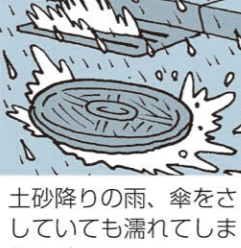



# 風水害

## 気象庁の注意報・警報


種類	警戒レベル2 注意報	警戒レベル3 警報	警戒レベル4 特別警報
概要	災害が起こるおそれのある場合に発表される。	重大な災害が起こるおそれのある場合に発表される。	重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合に発表されます。
取るべき行動	最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。 	町が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。 	避難情報に従い直ちに避難！外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ！ 

## 風水害の危険度

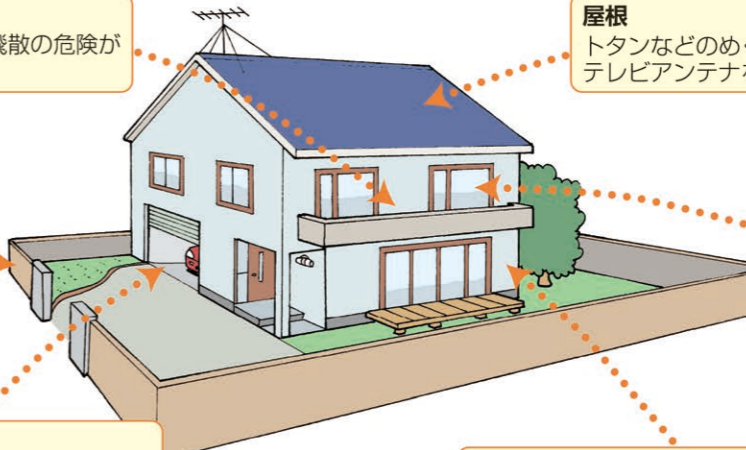
### ●雨による危険度のチェックポイント

<b>やや強い雨</b> (1時間に10~20mmの雨)  地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。	<b>強い雨</b> (1時間に20~30mmの雨)  土砂降りの雨、傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川では、はんらんやがけ崩れの心配もあります。	<b>激しい雨</b> (1時間に30~50mmの雨)  バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制も行われます。	<b>非常に激しい雨</b> (1時間に50~80mmの雨)  雨が滝のように降り、あたりが氷じぶきで白くなります。マンホールから水が噴出することもあり、土石流などが発生しやすくなり、警戒が必要です。	<b>猛烈な雨</b> (1時間に80mm以上の雨)  息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ●風による危険度のチェックポイント

<b>やや強い風</b> 平均風速(10~15m/s)  風に向かって歩きにくくなり、取付けの不完全な看板やトタンが飛び始めます。	<b>強い風</b> 平均風速(15~20m/s)  風に向かって歩きにくくなり、転倒する人が出たりビニールハウスが壊れはじめたりします。	<b>非常に激しい風</b> 平均風速(20~25m/s) 平均風速(25~30m/s)  しっかりと体勢を確保しないと転倒します。金属製のシャッターが破損したり、風で飛ばされたもので窓ガラスが割れたりします。	<b>猛烈な風</b> 平均風速(30m/s以上)  立っていられなくなり、屋外での行動は危険です。ブロック塀が壊れたり、取付けの不完全な屋外装材がはがれ飛び始めます。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 風水害に備える



- ベランダ**  
鉢植えや物干しざおなど、飛散の危険が高いものは屋内に片づける。
- 屋根**  
トタンなどのめくれ、はがれを点検しテレビアンテナをしっかりと固定する。
- 窓ガラス**  
ひび割れ、窓枠のたつきがないか確認する。また、強風による飛来物などに備え、外側から板でふさぐなどの処置をする。
- ブロック塀**  
ひび割れや破損箇所は修理する。
- 半地下、地下車庫**  
半地下や地下車庫は道路からの雨水が流入し、浸水することがあります。浸水の恐れがある時は、地下室に入らない。事前に止水板や土のう等で浸水防止策をとる。
- 外壁など**  
モルタルの壁の亀裂は修復する。サイディングの浮きがないか確認する。プロパンガスのボンベや灯油のホームタンクはしっかりと固定する。

## 風水害時の心得

台風や豪雨などによる風水害は、対策によって最小限に止めることができるものです。気象情報には十分に注意して、早めの備えを心掛けましょう。

### 被害を減らす心得

- 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- 避難勧告などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

### 避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 濡れた衣服のまま過ごす、身体が冷えて低体温症になる可能性があるため、非常用の衣類を持って避難する。
- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 浸水しているときは、足元などを棒で確認しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



# 風水害

## 竜巻に備える

積乱雲の接近により、竜巻・雷が発生するおそれがあります。天気予報で「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」などの言葉があれば、厳重に警戒をし、積乱雲が近づく兆しがある場合は、危険な場所を離れ、丈夫な建物などへ避難しましょう。

### 竜巻とは？

発達した積乱雲の底から柱状またはロータ状に地面や水面に伸びた非常に速い速度で回転する空気の渦です。移動スピードが非常に速く、短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。

### 竜巻注意情報が発表されたら

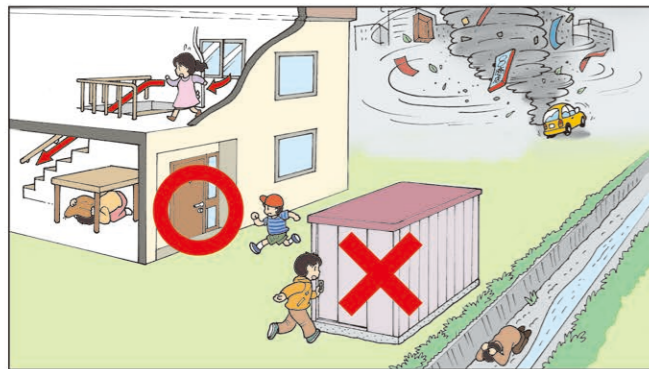
まず周囲の空の状況に注意を払ってください。さらに、次のような兆候が確認されたら、頑丈な建物に避難して、身の安全を図ってください。

- ① 空が急に真っ暗になる。
- ② 大粒の雨が降り出す。
- ③ 雷が発生する。
- ④ 積乱雲が近づく。

### 竜巻が間近に迫ったら

すぐに身を守るための行動をとってください。

- ① 屋内：窓やカーテンを閉めて、一階の窓のない部屋に移動し、机やテーブルの下に入るなど、頭を守ってください。
- ② 屋外：頑丈な建物の物陰に入って、身を小さくする。物置・車庫・プレハブの中や電柱・樹木は倒壊する恐れがあり、危険です。



### 竜巻注意情報

竜巻注意情報は、竜巻やダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける気象情報で、気象台から発表されます。「竜巻注意情報」の発表から約1時間は注意してください。危険な気象状態が続く場合は、改めて情報が発表されます。

## ① 知る 気象庁ホームページで警報・注意報等を確認

### 危険度を色分けした時系列

気象庁ホームページでは、警報・注意報等が発表されたときに、どの程度の危険度の現象がどのくらい先の時間帯に予想されるかを分かりやすく伝えられるよう、危険度を色分けして表示しています。

気象庁ホームページ  
> 気象警報・注意報: 奈井江町  
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/0142400.html>



### 洪水警報の危険度分布

気象庁ホームページでは、警報・注意報等が発表されたときに、実際にどこで危険度が高まっているのかが一目で分かる「危険度分布」を提供しています。お住まいの場所など、現在いる場所の危険度を確認できる命を守るための情報です。

気象庁ホームページ  
> 洪水警報の危険度分布  
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



# 土砂災害

## 土砂災害の種類



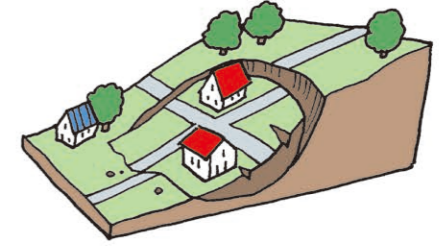
### 土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。



### がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。



### 地すべり

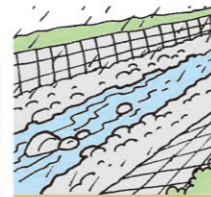
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

## こんな前ぶれ現象に注意！

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流が濁り流木が混ざり始める



小石がパラパラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

## 安全に避難するために

### 避難経路の確認

土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



### 土石流からの逃げ方

土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



## 土砂災害の警戒種別

土砂災害発生のおそれがある区域は、北海道により指定されており、その危険度に応じて「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。

### 土砂災害警戒区域 (通称：イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域をいいます。

### 土砂災害特別警戒区域 (通称：レッドゾーン)

「土砂災害警戒区域」のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域をいいます。

該当する凡例

土砂災害警戒区域	黄色	土	石	流
土砂災害特別警戒区域	赤色	が	け	崩
		地	す	べ
		り		

# 地震

## 地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

### 地震発生

身の安全を確保

**緊急地震速報**

- 震度3以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。
- テレビ・ラジオ・携帯電話・スマートフォンなどから入手することができます。ただし、携帯電話・スマートフォンは震度4以上の強い揺れが起これると予想される地域に配信されます。

- 発表から揺れが来るまで数秒から数十秒しかないため、速やかに身の安全を確保することが重要です。

- 頭を保護し、机やテーブルの下へ
- あわてず素早く火の始末
- 非常脱出口の確保(部屋のドアを開ける等)



1~2分

揺れがおさまるのを待って

- 家族の安全確認
- 非常持ち出し品を用意する
- 火元を確認する
- 靴をはく



3分

余震に注意

- 周辺住民への声かけ



5分

正しい情報を集める

- デマを信じない
- 正確な情報を収集



10~15分

落ち着いて速やかに避難

- 火災防止の為、ブレーカーをおとす
- 山崩れ、がけ崩れに注意
- 安全な避難経路の確認



半日~3日

避難後は助け合いの心で

- 地域で協力して応急救護の体制を
- 災害情報、被害情報の収集
- 飲料水、食料の確保



### 停電時の備え

**備え① 安全に避難するためには**

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。

リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。

懐中電灯と足元灯とを兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。



**備え② 災害情報を確保するためには**

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。

ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。

停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて

家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。



## 揺れの強さ

震度は、わたしたちが生活している場所での揺れの強さのことを表します。各震度の強さを知り、地震が起きた時の対処方法を想定しておきましょう。

緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が揺れに気づく。	大半の人が揺れに驚く。	大半の人が物につかまりたいと感じる。	大半の人が行動に支障を感じる。	立っていることが困難になる。	這わないと動けない。	動けず、飛ばされることもある。

## 地震に備える~わが家の安全対策~

ふだんからイメージして工夫することで、地震が起きた時に被害を少なくすることができます。家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性をチェックし、補強や移動を行っておきましょう。

窓ガラスの飛散や高い所からの物の落下を防ぎましょう

窓ガラスには飛散防止フィルムを貼るようにし、室内にスリッパや靴を用意しておきましょう。また、家具の上に物を置かないようにしましょう。



寝室や人の出入りが多い部屋には大きな家具を置かないようにしましょう

就寝中に地震に襲われると大きな家具が倒れて危険です。大きな家具は、寝室や人の出入りが多い部屋には置かないようにしましょう。



家具の転倒、落下防止対策をしましょう

背の高い家具は市販のL字金具や支え棒で固定しましょう。



避難通路を確保しておきましょう

安全に避難できるように、玄関や廊下などには家具や荷物は置かないようにしましょう。



## 北海道・三陸沖後発地震注意情報

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺でMw7以上の地震が発生した場合には、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信し、大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして、後発地震への注意を促します。

- ① マグニチュード7以上の地震発生で「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発信されます。
- ② 情報が発信されたら備えの再確認とすぐに避難できる態勢の準備を!

※先に発生した地震を先発地震、これ以降に引き続いて発生する地震を後発地震と呼びます。

大規模地震の前例 北海道胆振東部地震 : ①2018年9月6日(3時7分) M6.7 ②2018年9月6日(6時11分) M5.4 ③2018年10月5日 M5.2 ④2019年2月21日 M5.8

# 地震

## 火災発生時の行動

通報・初期消火・避難が原則です。ただし、逃げ遅れないことが何よりも大切です。

### ●早く知らせる

火災の発生を周囲に知らせ、小さな火でも必ず119番に通報する。



### ●初期消火

火が横へ広がっているうちは初期消火を。身近なものを利用して消火しましょう。



### ●避難する

火が天井まで広がったら避難。タオルなどで口や鼻を覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くする。



### 消火器の使い方

①安全栓を引き抜く



②ホースをはずし火元に向ける



③レバーを強く握って火元に噴射する



## 災害用伝言ダイヤル「171」

※録音は30秒以内。伝言保存期間は48時間。

地震などの大きな災害が起きると、多くの方が一斉に電話をかけて家族や知人などに連絡をとるため、電話がつながりにくい状況になります。そんな時に役立つサービスが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」です。

### 伝言の録音方法

171 にダイヤルする

録音の場合 1

自宅の電話番号  
(市外局番から)

録音

### 伝言の再生方法

171 にダイヤルする

再生の場合 2

被災した方の電話番号  
(市外局番から)

再生

## 防災情報

避難情報・河川情報・気象情報に関すること  
北海道防災情報

<https://www.bousai-hokkaido.jp/>



雨量・水位に関すること  
川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>



気象(注意報、警報)に関すること  
札幌管区気象台

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>



## 困ったときの連絡先(市外局番 0125)

※「ガス」はご家庭で契約している会社名、住所、電話番号を記入しましょう。

	名称	住所	電話番号
緊急連絡先	奈井江町役場	本町10区	65-2111
	砂川地区広域消防組合	砂川市	54-2196
	砂川地区広域消防組合奈井江・浦臼支署	本町9区	65-2259
	滝川警察署	滝川市	24-0110
	奈井江交番	北町4区	65-2109
	奈井江町国民健康保険病院	本町10区	65-2221
水道	中空知広域水道企業団	砂川市	53-3831
電気	北海道電力(株)滝川営業所	滝川市	24-7166
電話	NTT東日本(電話の故障)	固定電話から	113
		携帯電話から	0120-444-113
ガス	契約のガス会社:( )		